

事業所名

Yくまーず未来 西尾

支援プログラム（参考様式）

作成日

R6 年

11 月

11 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子ども、家族の夢を追求する。 本人、家族、それぞれ叶えたい夢があり、ご家族の数だけ夢が違う。それぞれの家庭に合った内容で、ひとつひとつ夢をかなえるためのサポートを行っていく。 			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で行うクッキングやグループ活動を通して生活動作や友達とのやりとりの経験を重ね、児の可能性を広げる環境を整えていく。 保護者や他機関と連携をとりながら児の姿の把握と共有を図り、家族の時間の充実にもつなげていく。 児の気持ち・心の安定を図り、夢を描こうと思える環境支援を行っていく。 			
営業時間		10 時 0 分から 19 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の検温・手洗い・目視の健康チェックを実施し、ひとりひとりの健康状態を把握している。 ○毎週のおやつ作りや月数回のクッキング、収穫体験を行い、食育を行っている。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○運動療育ではひとりひとりの姿に合わせて個別課題を提示し、指先の使い方や体のバランスなど様々な角度から支援を行っている。 ○公園や散歩に出掛ける機会を多く持ち、季節を感じたり体を動かしたりして運動・感覚の両面に働きかけている。 ○触覚や視覚を刺激しながら五感に働きかけ、過敏や鈍麻を平均に近づける支援をしている。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○当日の日付や曜日・時間・スケジュールを視覚で捉えやすいように提示し、それぞれの概念を習得できるように支援している。 ○視覚と聴覚に伝わりやすいタイムタイマーを用いて、行動に区切りをつけやすくしている。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の区切りをつける挨拶や言葉を習慣づけて、集団生活の中でスムーズに毎日を過ごせる支援をしている。 ○その日にあったことや嬉しかった・楽しかったことを発表する場を設け、文章にして話す力や相手の話を聞く姿勢を養う環境を整えている。 ○ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、少人数で取り組む社会性の獲得も支援している。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○利用する児に合わせたレベルのルールのある集団遊びを通して、自己理解や他者理解の力を養っている。 ○地域施設や公園など様々な場へ外出をし、公共の場での過ごし方やマナーを知り、行動に移す環境を用意している。 			
家族支援		○家庭訪問や事業所での相談の場を設け、保護者が困り感を抱え込まないように一緒に支援について話している。	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○就学や進学に向けた情報提供を行っている。 ○相談支援員さんに同席していただき、将来をに据えた支援ビジョンを話し合っている。 	
地域支援・地域連携		○日々の送迎時に学校や園の担任との情報共有及び学校での担当者会開催など、密に連携をとり支援している。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○研修や勉強会を行い、知識の向上に努めている。 ○定期的に職員間でそれぞれの気づきを伝え合い、支援の質の向上を図っている。 	
主な行事等		○夏祭りやハロウィン・クリスマスなど、季節の節目にお楽しみ会を開催している。			